

2025. 7. 9

トランプ氏 原爆投下また正当化

米国のトランプ大統領は7日、広島、長崎への原爆投下を決断したトルーマン元大統領に言及し、原爆投下が「多くの戦闘を終わら

せた」と改めて語りました。訪米中のイスラエルのネタニヤフ首相との夕食会の前に記者団に語りました。トランプ氏は、イスラエ

ルの空爆に続き、米軍もイランの核施設を攻撃したことに言及。米軍は「素晴らしい仕事を成し遂げた」と称賛し、攻撃はイランの核

保有を阻止するためのものだ」と改めて主張。その上で、トルーマン元大統領の肖像画が新たにホワイトハウスに飾られたことを紹介しました。

トランプ氏は、原爆投下を「ある出来事」と明言を避けつつ、「多くの争いを終わらせた。あの出来事後、状況はまったく変わった」と原爆投下を改めて正当化しました。

トランプ大統領は6月にも、イラン空爆が戦争を終結させたとし、原爆投下と「本質的に同じものだ」と主張していました。